

JIS 案コメントシート

資料11

No.	規格 番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
1	C 6840	渋谷 隆 1	43	1	2	ED	“偏波面保存光ファイバ”の用語が古くから用いられており、現在 JIS 名称に“偏波面保存光ファイバ”を含む JIS は 4 件あります。今回、“偏波保持光ファイバ”としていますが、全ての JIS をこの名称に変更していくのでしょうか？	名称変更の計画を教えてください。	一連の“偏波保持光ファイバ”の制定・改正にあたって、懸案の用語の見直しを行ったもので、本件は 2 件目にあたり、3 件目は 20D 区分で対応します。残る JIS は 5 年見直しの際など必要に応じて順次改正を検討します。
2	C 6840	渋谷 隆 2	69 73	4 5		ED	“試験”と“測定”とをどのように使い分けていますか？	“試験”及び“測定”の使い分けを明確にしてください。	measurement を測定、test を試験としています。RTM (Reference Test Method) は、「基準試験方法」で見直します。
3	C 6840	渋谷 隆 3	75	5		ED	“測定される”は能力を表す表現でしょうか？	“測定できる”又は“測定が可能である”に変更の検討をお願いします。	JISC6873 及び原文を考慮し、下記に変更します。 「方法 A (パワー比法) は、JIS C 6873 によって指定された基準測定方法 (reference test method, RTM) であり、“平均化された” 偏波クロストークが測定される。」→ 「方法 A (パワー比法) による測定値は、JIS C 6873 で偏波クロストークの平均値として定義されているので、方法 A を基準試験方法 (reference test method, RTM) とする。」

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

No.	規格 番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
4	C 6840	渋谷 隆 4	111 112	6.1.3.4		TE	5%の誤差とは、校正用検出器との差を示していますか？ 相対光パワーを測定するのであれば、直線性を定義する方が良いのではないのでしょうか？ 誤差は極力用いず、“測定不確かさ”を用いる方が良いと思います。	直線線を規定するよう検討をお願いします。	「検出器感度は、測定できる最小値と最大値との間で 5%以内の誤差、及び線形かつ入射光の偏波状態に独立でなければならない。」を次に修正します。 「検出器感度は、測定できる最小値と最大値との間で 5%以内の測定不確かさ及び直線性を有し、かつ入射光の偏波状態に独立でなければならない。」
5	C 6840	渋谷 隆 5	114	6.1.3.5		ED	”偏波をもつ“はあいまいな表現だと思います。無偏光又はランダム偏光に対する特徴だと思います。	誤解を与えない表現に変更を検討願います。	「偏波をもつ場合」→「無偏光又はランダム偏光ではない場合」に変更します。
6	C 6840	渋谷 隆 6	116	6.1.3.6		GE	“偏光子”の参考文献として、JIS C 5877-1 偏光子－第 1 部：通則を引用したらどうでしょうか？	引用を検討願います。	参考文献に追加します。
7	C 6840	渋谷 隆 7	120	6.1.3.6		ED	“少なくとも 10 dB 高くする”	“10 dB 以上高くする”の方が分かりやすい表現だと思います。	“10 dB 以上高くする”に変更します。
8	C 6840	渋谷 隆 8	151	6.2.1		GE/TE	光部品の測定も可能と記載されています。光部品の偏波消光比測定方法として、JIS C 61300-3-40 が規定されています。	参考文献に JIS C 61300-3-40 を記載することを検討願います。	「光部品との接続」が記載されているので、参考文献に JIS C 61300-3-40 を記載します。
9	C6840	波多 腰 1	154			ED	X 偏波, Y 偏波の説明 (定義) があった方が良くように思います。JIS C 6820 (光ファイバ通則) にも定義されていないようなので。		「X 偏波と Y 偏波とがなす」→「直交する二つの偏波とがなす」と変更します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

No.	規格 番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
10	C 6840	渋谷 隆 9	169	6.2.3	図 2	GE	ポアンカレ球は“球”であって“円”ではないので、中心をとおるある平面（例えば赤道又は経線）に投影した図を示していると思われます。	説明を追記したらどうでしょうか？	「図 2 の a) は、測定データ及びそれを近似した円の正面図を示し、図 2 の b) は、90 度回転させた方向からの断面図を示す。」を次に修正をします。 「図 2 の a) は、ポアンカレ球上の測定データ及びそれを近似した円を赤道面に投影した正面図を示し、図 2 の b) は、90 度回転させた方向からのポアンカレ球の断面図を示す。」
11	C 6840	渋谷 隆 10	188	7.1		TE	光源の種類を記録する必要があるのではないのでしょうか？	光源の種類を追加する検討をお願いします。	IDT のため、この JIS では追加せず、将来の IEC への変更提案とさせていただきます。

以上

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
1	C6870-2	石井紀彦 1	50			ED	光ファイバケーブルー 第 2 部：屋内ケーブルー品種別通則 改行位置を資料 7 に合わせる	光ファイバケーブルー第 2 部：屋内ケーブルー 品種別通則	修正します。
2	C6870-2	渋谷隆 1	98	2		ED	引用規格 C6832 は、この規格では特定の箇条、表、図、式などを規定していないので、年号は不要ではないでしょうか？	年号削除を検討願います。	対応国際規格の引用規格で年号を指定しているために、記載しています。
3	C6870-2	渋谷隆 2	145	4.2		GE	“JIS C 6870-2 規格群の通則又は細則”とありますが、JIS C 6870-2 はこの規格自体ではないでしょうか？この規格自体を引用するのは不適切で、適切な箇条を指定する方が良いと思います。	JIS C 6870-2 の通則の代わりにこの規格の箇条を指定することを検討願います。	ここでいう通則とは、品種別通則(6870-2-10,20 等)を指しますので、“規格群の通則”を“規格群の品種別通則”と修正します。
4	C6870-2	渋谷隆 3	156	5.1		ED	184 行、186 行には方法の名称を記載していますが、方法 E5 の名称が記載されていません。	方法 E5 の名称を記載したらどうでしょうか？	E5 には 3 種類あり、記載すると長く読みづらくなるので、省略しております。
5	C6870-2	渋谷隆 4	164	5.1		ED	“がケーブルの製造と同じ製造業者によって行われる”を能動態表現にする方が良いと思います。	“をケーブルの製造と同じ製造業者が行う”などに変更することを検討願います。	修正します。
6	C6870-2	渋谷隆 5	165	5.1		ED	“試験は、ケーブル構成部材が第三者によって供給されている場合には、ケーブル構成部材について実施しなければならない。”	“ケーブル構成部材が第三者によって供給されている場合には、ケーブル構成部材について、試験を実施しなければならない。” の方が良いのではないのでしょうか？	“ケーブル構成部材が第三者によって供給されている場合には、試験はケーブル構成部材について実施しなければならない”とします。

以上

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
1	C6870 -2 -10	渋谷 隆 1	78	2		ED	JIS C 3660 規格群が 4 件引用されていますが、点線下線が付与されていません。対応国際規格では、IEC 60811-1-1 が引用規格として記載されています。これとの対応なのでしょうか？ちなみに、JIS C 3660-201 の対応国際規格は、IEC 60811-201 であり、IEC 60794-2-10 には記載されていません。	点線下線が付与されていない JIS の対応国際規格の引用規格との関係を記載する必要はないでしょうか？	注記で説明を追加します。 IEC 60811-1-1 が廃止されて、IEC 60811-201/-202/-203/-501 に分割移行されました。それらに対応国際規格とする JIS が、JIS C 3660 規格群の 4 規格になります。
2	C6870 -2-10	諏訪 1	153	4.3	表 1	TE	表 1 バッファの種類による寸法では、ルース形とセミタイト形、一緒なのか？ 147 行目から 148 行目の記述では、それぞれ種類が違うように見えます。	表 1 のバッファの種類を以下にする。 ルース形及びセミタイト タイト形	ルース形及びセミタイト形 タイト形 と修正します。
3	C6870 -2 -10	藤井 哲郎	資料 7	5-2-①			5.(2).①で「角形インドアケーブルの規定を追加する」とあるのですが、本文中に「角形」という単語も「インドア」という単語も出てこないのですが。違う用語が用いられているのでしょうか。		図 A.8 の”長方形形光ファイバケーブル”が対応品です。

以上

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

No.	規格 番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
1	C 6870- 2-20	石井 紀彦 2	47			ED	光ファイバケーブル第 2-20 部：屋内ケ ーブル—多 心光ファイバケーブル品種別通則 改行位置を資料 7 に合わせる	光ファイバケーブル第 2-20 部：屋 内ケーブル— 多心光ファイバケーブル品種別通則	改行位置を修正します。
2	C6870 -2 -20	渋谷 隆 1	157	4.5		ED	“のような光学素子“	“などの光学素子”の方が適切ではない でしょうか？	“などの光学素子”に修正します。
3	C6870 -2 -20	渋谷 隆 2	220	5.3.2		ED	“設計試験後”の表現がありますが、“運用 試験後”の間違いではないですか？	確認をお願いします。	“設置試験後”に修正します。

以上

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
1	C6701	渋谷 隆 1	全般			GE	試験に供する試料数の規定がありませんが、個別規格又は商取引当事者間によるのが一般的なのでしょうか？試料数は AQL に従う、ロット (バッチ) からランダム抜取り (JISZ9015) によって行うなどの規定は不要でしょうか？	試料数に関する規定の必要性を検討願います。	試料数については個別規格又は商取引当事者間によるのが一般的なもので規定は不要です。
2	C6701	渋谷 隆 2	168	3.2		GE	この規格は用語規格の位置づけのように思えます。この規格で定義する用語及び定義は、水晶振動子に関する JIS にも適用できると考えられます。	“この規格及び水晶振動子に関する規格で用いる主な用語及び定義は、次による。” とする方が良いのでしょうか？	この規格が水晶振動子ですのでこのままで良いのではないのでしょうか。
3	C6701	渋谷 隆 3	174	3.2.2		ED	定義が 2 文で規定されています。定義は簡潔に記載する必要があります。	第 2 文を注釈 1 に移動することを検討願います。	第 2 文を注釈 1 に移動します。 「注釈 1 これによって水晶片に電界がかけられる。」
4	C6701	渋谷 隆 4	191	3.2.7		ED	定義が 2 文で規定されています。定義は簡潔に記載する必要があります。	第 2 文を注釈 1 に移動することを検討願います。	第 2 文を注釈 1 に移動します。 「注釈 1 一般的な振動モードは、次による。 － 屈曲 － 伸長 － 輪郭すべり － 厚みすべり 」
5	C6701	渋谷 隆 5	298		図 4	ED	細分図 (Subfigure) a), b), c) の題名がありません。	細分図の題名を付与してください。	a) 負荷容量なしの場合 b) 負荷容量直列接続の場合 c) 負荷容量並列接続の場合 とします。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
6	C6701	渋谷 隆 6	378 569	4.1 6.5		ED	ぶら下がり段落になっています。	ぶら下がり段落を解消してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4.1 は次のように修正します。 「選択することが望ましい推奨定格及び特性を、4.1.1～4.1.11 に示す。」 ・ 6.5 は次のように修正します。 「個別規格に規定がない場合には、外観目視検査は、通常の工場の照明によって、6.5.1～6.5.3 に従って行う。」
7	C6701	渋谷 隆 7	663 680	6.8.1 6.8.2	注記	ED	注記に要求事項の表現が用いられています。注記には要求、推奨、許容は用いることができないので、表現を変更するか、本文に移動する必要があると思います。	検討をお願いします。	点線下線付きで本文に移動します。なお、次の注記を追加します。 「注記 注記には、要求事項、推奨事項及び許容事項を含めてはならないため、対応国際規格の注記の記載内容を本文に移動した。」
8	C6701	渋谷 隆 8	673 683	6.8.2		ED	単位 PA は Pa (パスカル) の間違いではないでしょうか？	確認をお願いします。	Pa (パスカル) ですので、8.5 kPa に修正します
8 A	C6701	諏訪 1	779	6.9.1.2		ED	778 行目は、25 °C±2 °C 779 行目は、+85±3 °C	779 行目を修正 +85 °C±3 °C	ご提案通りに 779 行を修正します +85 °C±3 °C
9	C6701	波多 腰 2	801			ED	式に使われているので、時間加速係数 (TAF) の変数 (記号 1 文字(イタリック) + 添字) を定義した方がよいように思います。	慣例的に TAF が定着しているのであればやむをえないが、可能なら記号 1 文字(イタリック) + 添字の変数を定義 (e. g. : F_{TA})	Time Acceleration Factors の頭文字です。IEC 60122-1 においても TAF となっていて定着しているものですので、このままにします。
10	C6701	波多 腰 3	801			ED	変数→イタリック 小数点→日本ではピリオド 指数→上付	$k \doteq 8,617 \times 10^{-5} \text{ eV/K}$ → $k \doteq 8.617 \times 10^{-5} \text{ eV/K}$	ご指摘通り修正します。 $k \doteq 8.617 \times 10^{-5} \text{ eV/K}$

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

No.	規格 番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
11	C6701	渋谷 隆 9	817	6.9.2.3		ED	“である。”だと情報になります。要求であれば“とする。”の方が良いのではないですか？	確認をお願いします。	「とする。」に修正します。
12	C6701	波多 腰 4	877			ED	変数→イタリック 小数点→日本ではピリオド 指数→上付	$k \doteq 8,617 \times 10^{-5} \text{ eV/K}$ → $k \doteq 8.617 \times 10^{-5} \text{ eV/K}$	ご指摘通り修正します。 $k \doteq 8.617 \times 10^{-5} \text{ eV/K}$
13	C 6701	石井 紀彦 3	877			ED	$k \doteq 8,617 \times 10^{-5} \text{ eV/K}$	$k \doteq 8,617 \times 10^{-5} \text{ eV/K}$	次の通りに修正します。 $k \doteq 8.617 \times 10^{-5} \text{ eV/K}$
14	C6701	渋谷 隆 10	981 990～ 1001	JB.2.1.5 JB.3.1		ED	“用いる”，“用いない”など要求の表現に思えます。附属書 JB は参考なので、要求条件を記載してはいけないのではないのでしょうか？	確認をお願いします。	「用いることが望ましい」、「用いないことが望ましい」に修正します。
15	C6701	渋谷 隆 11	1216	附 属 書 JF		ED	IEC 規格に対しては“改訂”を用いるので、改正を改訂に変更する必要があります。	改正を改訂に修正してください。	「改訂」に修正します。

以上

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

No.	規格 番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
1	C6703	渋谷 隆 1	192	3.2.8		ED	定義は、“反射係数の逆数” “一般にデシベルで表す”は、注釈に移動 するのが良いのではないのでしょうか？ 他にも定義に（デシベルで表す）とあり ますが、これらは全て注釈に移動する方 が良いと思います。 デシベルで表す場合、値の対数なので、 それも記載すると分かりやすいと思いま す。	定義を“反射係数の逆数”だけにできる か検討をお願いします。	3.2.8 の定義は”反射係数の逆数” 3.2.11 の定義は”通過帯域内の希望信号 出力と相互変調性レベルの差” 3.2.12 の定義は”入力信号～と相互変調 積とが同じになる仮想レベル”とし、 注釈で”一般にデシベルで表す”としま す。 デシベルは一般用語ですので、説明は 不要と考えます。
2	C6703	渋谷 隆 2	215	4.1		ED	ぶら下がり段落になっています。	ぶら下がり段落の解消をお願いしま す。	次のように修正します。 「個別規格に規定がない場合、選択す ることが望ましい定格及び特性の推奨 値を、4.1.1～4.1.6 に示す。」
3	C6703	渋谷 隆 3	228	4.1.4		ED	要求事項であれば、“参照”よりは“によ る。”の方が適切だと思います。	“参照”を“による。”に変更すること を検討願います。	「による。」に修正します。
4	C6703	渋谷 隆 4	231		表 1	TE	正弦波振動試験のスイープ（挿引）速度 が規定されていません。	スイープ速度を規定することを検討願 います。	「1 オクターブ/分」が掃引速度になり ます。 JIS_C_60068-2_4.1.6 掃引でも同様に記 載されております。
5	C6703	渋谷 隆 5	275	5.5		ED	IEC の具体的な規格番号又は規格群を指 定できないのでしょうか？	IEC の規格番号又は規格群を指定す ることを検討願います。	「IEC の品種別通則」を「品種別通則 (IEC 60368-4)」に修正します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

No.	規格 番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの 種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
6	C6703	渋谷 隆 6	362 371	6.2.1		ED	JIS C 60068-1:2016、4.3 で“標準大気条件” を用いています。	箇条名の変更を検討願います。 また、改正に備え、箇条番号を記載せ ず、箇条名だけを記載することを検討 願います。	6.2.1 の箇条名を「標準試験条件」を 「標準大気条件」に修正します。 JIS C 60068-1 の 5.3 に規定するの 「5.3」を削除します。
7	C6703	渋谷 隆 7	406	6.5.1		ED	“図”のフォントを MS ゴシックに修正し てください。	“図”のフォントを MS ゴシックに修正 してください。	「図」のフォントをゴシックボールド に変更します。
8	C6703	渋谷 隆 8	423	6.5.1	図 1	ED	記号説明の下の点線下線は本文だと思 います。図題名の上にあります。本文と するならば、図題名の下に移動する必 要があります。要求事項を含む図の説明 であれば脚注として記載することが可能 です。図表の脚注には要求、推奨、許容 を記載することができます。	脚注として記載することを検討願いま す。	記号説明の下の点線下線は本文です ので、図題名の下に移動するようにしま す。
9	C6703	波多 腰 5	444			ED	変数→イタリック	$\omega = 2\pi f \rightarrow \omega = 2\pi f$	ご指摘通り修正します。 $\omega = 2\pi f$
10	C6703	波多 腰 6	506, 507			ED	プラグイン → プラグイン (?)		ご指摘通り修正します。 プラグイン

以上